

令和4年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和5年度～令和7年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	東日本大震災伝承活動支援事業		
政策	過去に学びみんなが命を守れるまち/防災意識の向上	担当課	総合政策課
施策①	迅速かつ確実な避難行動を行える防災意識の醸成	電話番号	0193-27-8438
施策②	東日本大震災の検証と風化防止に向けた取組	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	防災まちづくりの推進	新規・継続	継続
市長基本施策	復興の完遂	補助・単独	単独
事業期間	令和4年度～令和7年度		
事業の概要			
東日本大震災の記憶の風化、語り部の高齢化や後継者不足、被災地への訪問者の減少などの課題に対応するため、「いのちをつなぐ未来館」の指定管理者が実践する、震災伝承活動等にかかる防災学習プログラムの提供に対し、必要とする経費へ補助金の交付を行い、震災の記憶や教訓を次世代へ継承する取組みを支援するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
震災の記憶や教訓の風化により、今後の大災害発生に備えるための防災意識の希薄化が懸念される。
目的
効果的なプログラムの展開により、震災伝承の仕組みと体制を構築するとともに、市民の防災意識の向上を図り、災害文化の創造へとつなげていくことを目指す。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
東日本大震災伝承活動支援事業補助金の交付		
事業費		
R 5	R 6	R 7
1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	見直し余地あり	適切
評価結果			
運営費と語り部の活動とを切り分けて考え、市内・市外それぞれへのアプローチを意識した上で事業を展開されたい。			

令和4年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和5年度～令和7年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	災害ハザードマップ作成事業		
政策	過去に学びみんなが命を守るまち/防災意識の向上	担当課	防災危機管理課
施策①	迅速かつ確実な避難行動を行える防災意識の醸成	電話番号	0193-27-8441
施策②	ハザードマップの整備	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	防災まちづくりの推進	新規・継続	継続
市長基本施策		補助・単独	補助
事業期間	令和3年度～令和5年度		
事業の概要			
令和元年度に公表された想定最大降雨による洪水浸水想定、令和3年度に指定が進んだ土砂災害警戒区域、同年度に公表された最大クラスの津波浸水想定等、近年、各種ハザード情報が大きく変わったことから、市内全域を網羅した冊子版のハザードマップを作成し市民に全戸配布するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
近年、洪水浸水想定、土砂災害警戒区域、津波浸水想定区域等の水害情報が大きく更新されているが、紙ベースでのハザードマップが整備されておらず、市民は市ホームページ等からウェブ版のハザードマップを都度、確認する必要が生じている。 また、ネット環境がない市民については、情報取得手段が限られている。
目的
新しい水害情報を網羅した冊子版のハザードマップを作成し全世帯に配付することにより、市民が災害危険箇所を把握し、必要に応じて安全な場所に避難することができる。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
新しい水害情報と市内全域を網羅した冊子版のハザードマップを作成し市民に全戸配布する。		
事業費		
R 5	R 6	R 7
12,000 千円	0 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
最新の水害情報が含まれたハザードマップにより、正しい避難場所への避難が可能となるとともに、事前の避難経路把握により早期の避難が可能となるため、作成が必要と判断した。			